

ビビられる日本

アジアの海賊版から

<4>

山田 奨治

前回と同じく、昨年十月
初めの香港での体験であ
る。電気街として有名な旺
角(モンコック)の雑居ビ
ルをのぞいた。ビルの中
には、日本のものを売るマン
ガ書店やフィギュア店、コ
スプレ店とともに、映画や
アニメのDVDやパソコン
・ソフトの海賊版を売る小
さな店が並んでいた。

消滅

平日の昼下がりだとい
うのに、おおぜいの学生やビ
ジネスマン風の若者たち
が、思い思いにソフトを物
色していた。突然、一つの
店の電気が消された。間髪
を入れず、ほかの店の明か
りもつきつきと消され、フ
ロア全体が薄暗くなった。
客たちは一瞬戸惑ったが、
すぐに事態をのみ込んだよ
うで、静かに、そして整然
とエスカレーターへ、そし
て出口へと移動をはじめ
た。

外国人旅行者のわたしに
は、何が起きているのかわ
からなかった。しばし立ち
すくんで客たちの様子を見
ていたが、ほどなくわたし
にも事態がわかった。胸に
IDカードをぶら下げた取
締官が二人、向こうから歩
いてきたのだ。税関の職員
らしい。ここ数年、旺角に

はこうした取り締まりが頻
繁に入っているようだ。

香港のオタクが集まるこ
とで知られていた「信和中
議」を通した日本側からの
働きかけが功を奏している

の強化が、アジアでの日本
ドラマの衰退に、拍車をか
けている。

(国際日本文化研究セン
ター助教授)



日本のアニメは人気だが…海賊版の取り締まりが強化され、
日本文化の影響に陰りも (写真は台湾の店)

閉店相次ぎ 影響力も衰退

心」という雑居ビルへ三年
ぶりに行ってみた。ビルの
なからは、空きテナントばか
りで、閑散としていた。三
年前には日本のアニメやド
ラマ、アダルト・ビデオの
DVDを売っていた店のほ
とんどが、閉店に追い込ま
れたようだ。

香港では法律が変わっ
て、海賊版を売る店に場所
を貸した貸主も摘発される
ようになったらしい。それ
からは、海賊版を売る店は
激減したということだ。

海賊版ショップが消えて
行くのは、WTO(世界貿
易機関)やAPEC(アジ
ア太平洋経済協力関係会
議)を通した日本側からの
働きかけが功を奏している
からだ。これはたぶん、先
進国側からすれば喜ばしい
ことなのだろう。しかし、
わたしには何か釈然としな
い感じが残る。

たしかに違法な店は減っ
た。だが、それと同時に日
本のコンテンツが香港の町
から消えていった。結果と
して、日本のソフト・パワ
ーの影響力が、以前ほど感
じられなくなってしまう
た。

もっとも、海賊版の取り
締まりだけが、日本のソフ
ト・パワー衰退の原因とは
いえない。ここ数年、日本
のドラマは不調だし、それ
に呼応して韓流や華流がア
ジアで人気になっている。
そこへもって、取り締まり
の強化が、アジアでの日本
ドラマの衰退に、拍車をか
けている。

海賊版ソフトの流通が変
化していることもある。ど
うやら、街角でのDVD販
売から、ネット上での通信
販売やファイル交換へと、
流通の経路が変わってきて
いるようなのだ。これまで
のように、短期の調査で町
の海賊版ショップをみて回
れば、大衆文化の動向をつ
かめる時代では、もつなく
なると、私は感じている。

香港の町から海賊版が消
えて、日本文化の影響力が
みえにくくなってしまっ
た。日本文化は、香港文化
の一部として溶け込んでし
まったというみかたもでき
る。オタク系雑居ビルから
活気が消えた裏で、いった
い何が起きているののだろ
うか。